

先手四間飛車+美濃 後手居飛車急戦

居飛車急戦は①山田(美崎)定跡 ②鷺/宮定跡 ③棒銀 ④斜め棒銀 ⑤早仕掛けの5つになりますが、5つの戦法の特徴と四間飛車の待ち方によって戦型を使い分けていくことになります。

あとは自分の棋風に合っているかで決めていくと良いと思います。

相手がどの戦型が得意なのか、苦手なのかをお互いに探しながら一番自分が良い形で戦いが起こせると勝ちやすくなります。

個人的には居飛車急戦→持久戦(天守閣・銀冠)→居飛車穴熊の順番で覚えていくのが良いと思っています。

居飛車急戦…定跡で戦いの流れを学ぶ・玉をしっかり囲ってから飛角銀(桂)を使って攻める・手数計算

持久戦…玉が堅いことで飛角銀(桂)で思いっきり攻められる・玉が堅く負けにくくなる

居飛車穴熊…最強のイビアナは飛角桂で攻めることが多く、今まで覚えた仕掛けが活きてくる・遠い
というように、手数計算を出来た上で仕掛け方のパターンをいくつも覚えていくことで玉が堅い+仕掛けられるといった流れになりやすいので勝ちやすく負けにくい将棋になります。

最初から居飛車穴熊はオススメしません。手数計算も仕掛けも分からず状態では穴熊は「姿焼き」にされてしまいます。

また、個人的には金無双急戦やエルモ急戦は使いません。世の中に溢れすぎていて四間飛車側も受け方を色々知っているからです。

居飛車急戦としてはマイナーモードは出現率の低い戦法を選ぶことで四間飛車側の定跡の知識が追いつかずに中盤で有利になりやすいためです。

①～⑤で急戦の特徴

① 山田(美崎)定跡

斜め棒銀の親戚で銀を上がる前に突き捨てを入れるという仕掛けの基本です。

捌きやすいですが、46歩が入ってないと46角が厳しいので46歩を突かせられるかが大事です。

② 鶯/宮定跡

12飛と寄って軽く角頭を攻めていきます。金銀4枚が玉周辺にいるのと、14飛～73桂と活用しやすく、四間飛車側は苦手な人が多いです。(立花は1番苦手です)

③ 棒銀

右銀で押さえ込みを狙っていきます。棒銀は相居飛車でも使うことが多いので棒銀好きにはオススメですが、右銀が4段目で捌けず、というのもよく見かけるので中々難しい戦法ですが、藤井聰太プロは棒銀1本で奨励会級位者時代を勝ち抜いてるので1つの戦法を極めるというのもありそうです。

④ 斜め棒銀

居飛車急戦と言えば斜め棒銀のイメージがあるかもしれません。その分四間飛車もよくやられるので定跡知っている人も多いです。

⑤ 早仕掛け

先手四間飛車に対してはできる戦法になります。後手四間飛車だと受けが1手間に合わないので67銀(43銀)を保留して早仕掛けさせないようにすることが多いので後手居飛車急戦でみかけます。

飛角桂歩で仕掛けるので、金銀4枚が玉周辺に残りやすいので玉が割と堅いのと、居飛車の右桂が捌きやすいので個人的には一番好きな急戦戦法です。

先手四間飛車対後手居飛車急戦 基本図 20手目 74歩まで



先手四間飛車対後手居飛車急戦の基本図になります。

ここから居飛車は①～⑤の戦型を選択していきます。また、74歩は急戦志向の手ですが、ここから四間飛車の対応を見て天守閣、銀冠、穴熊など持久戦に持っていく方法もあります。例えば28玉なら26歩～25歩からの玉頭攻めの心配が減るので天守閣+斜め棒銀にするなどです。

まずは基本図までの指し手を解説します。

今回は四間飛車対居飛車急戦ですが、実際は相手の戦法が分からぬるため、相手の戦法の選択肢を考えながら作戦を決めていく必要があります。

この基本図は一般的な棋書とはもしかしたら手順や形が違うかもしれません、あくまで立花の研究ではということを念頭にお願いします。

▲76歩 まずは角道を開けます。

△84歩 相手の出方を見るために34歩もありますが、居飛車党なら84歩がおススメです。

▲66歩 四間飛車なので角道を止めます。

△34歩 角道を通します。84歩を決めたいですが、もし相手が雁木などの居飛車党だった場合に後手番で85歩が決めすぎ(玉に手を掛けていない)ため、急戦将棋となった時に受けが間に合わない可能性もあるため、85歩は振り飛車が決まったらが無難です。

▲68 飛 78 銀を先にして態度を保留する手もあります。例えば 68 銀で矢倉や雁木の可能性がある時は、62 銀で 84 歩を保留します。

△85 歩 84 歩保留で 62 銀として右四間飛車の可能性を残す手もあります。

ただ、個人的には相手が振り飛車だと分かったら 85 歩を決めてしまった方が本格居飛車党の雰囲気が出るので振り飛車的にもフレッシャーが掛かると思います。

▲77 角 86 歩を防ぎます。

△62 銀 まずは右銀を 62 銀へ上がります。

▲78 銀 基本的には相手の銀に合わせるのかいいので、居飛車が右銀を動かしたら振り飛車は左銀を動かします。68 飛 + 77 角 + 78 銀の形は 65 歩と突く可能性があるのでどちらも警戒します。

△42 玉 65 歩に備えて 42 玉と上がります。

▲48 玉 ここでもし 65 歩と突いてきた場合は後で説明します。(変化図 11 手目 65 歩)

△54 歩 ここでも 65 歩は大丈夫です。

▲38 銀 美濃囲いの準備です。38 玉なら美濃、穴熊、ミレニアムなどが考えられますか、39 玉型を作れないので 26 歩～25 歩と玉頭攻めがないので天守閣が有効です。

△52 金右 32 玉と寄るのが普通ですが、あえて保留するのは 32 銀～31 玉からの左美濃や 32 銀～24 歩～23 銀と銀冠で持久戦の可能性を残すためです。
この局面では 38 銀と美濃囲いがほぼ確定しているのですが、前の手で 38 玉だと 穴熊やミレニアムの可能性があります。振り飛車の玉が堅くなる時は、囲いが完成する前に急戦を狙うか、振り飛車の囲いより玉の堅さを強くするかのどちらかが良いです。

▲39 玉 美濃囲いへ。

△32 玉 船囲いへ。

▲16 歩 端歩で様子を見ます。

△14 歩 端歩は受けます。現代では居飛車穴熊でも端歩を受けることが多いので持久戦の場合でも端歩は受けた方が良いです。

▲58 金左 美濃囲い完成です。

△74 歩 74 歩で急戦であることを見せます。74 歩と突いてから持久戦に持っていく方法もあります。その場合は振り飛車は角を 46 角に転回して飛車のコビンを狙っていきます。飛車のコビンは受けづらいので 74 歩と突いた場合は持久戦ではなく急戦にすることが多いです。

変化図 11 手目 65 歩

68 飛 + 77 角 + 78 銀の形は級位者で 65 歩と突くことが多く、苦手な人もいると思います。

45 角の反撃で 21 と 89 の地点を狙うことができます。その為、38 玉や 38 銀 + 39 玉までいかないといち 65 歩は突けませんが、それでも突いてきた時は角交換後に 45 角で居飛車優勢です。

77 角成に同桂は 88 角と香が取れます。



基本図から 21 手目 65 歩

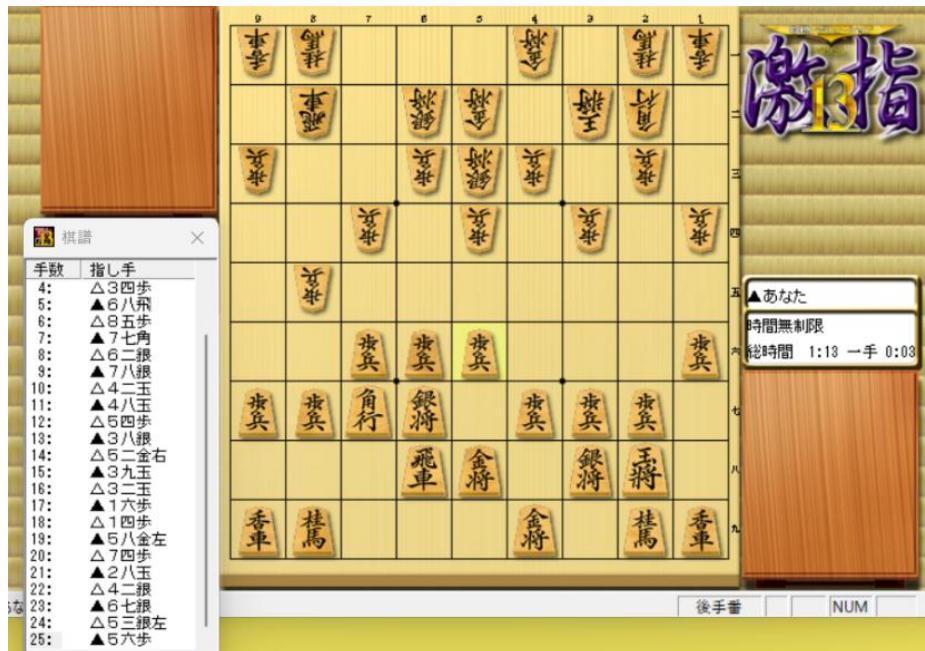
基本図から 65 歩と突くと 21 の地点が守られているので 45 角がないですが、この場合は 53 銀と上がり、64 歩の歩交換を阻止します。以下は一例ですが、左美濃や銀冠を目指して 1 歩持ったら 76 歩を狙っていくのが分かりやすいです。65 歩のような 5 段目に歩が伸びる形は位の確保が難しく、逆に狙われる可能性もあるので 65 歩は成功しないことが多いです。



基本図 21 手目からの方針

先手四間飛車の時は早仕掛けをされても互角の形を作ることができるので 67 銀 + 56 歩の組み合わせが一般的になります。ここから後手居飛車は、42 金直と入れるか、①～⑤で攻めるかを決めていきます。四間飛車は相手の急戦によって対応していくことになりますが、46 歩は相手が早仕掛けの時は有効ですが、それ以外では 46 角と出れないため、42 金直と入れて 46 歩なら早仕掛け以外で攻める方法もあります。ただ、42 金直に 98 香と更に待つ手もあり、香上かいが 99 角成とダイレクトに取られないと、42 金直は 34 桂や 54 桂が実現した時に両取りになりやすいのでどちらが良いとは言い切れません。参考までに①～⑤のほんの一例を紹介します。

基本図△74 歩以降
**▲28 玉△42 銀
▲67 銀△53 銀左
▲56 歩**



① 山田(美崎)定跡

△75 歩▲同步△64 銀△76 銀△72 飛△65 歩で四間飛車良し。山田定跡は 78 銀型に△75 歩▲同步△64 銀△74 歩△75 銀という流れなので、67 銀型にはちょっと難しいです。

② 鶯/宮定跡

△72 飛▲78 飛△75 歩▲同步△64 銀△65 歩△77 角成▲同角△75 銀△73 歩△同飛△82 角で四間飛車良し。また、△72 飛▲78 飛△75 步▲同步△同飛△88 角△78 飛成▲同銀も四間飛車指しやすい。鶯/宮定跡も 78 銀型に△72 飛▲67 銀△75 步▲同步△64 銀という流れなので、67 銀型にはちょっと難しいです。

③ 棒銀

△73 銀▲98 香△84 銀△78 飛△75 歩▲68 角△72 飛△46 角△64 歩△96 歩で互角ながら 84 銀が捌きづらい。46 角が入る形は居飛車が指しにくい形になりやすいです。

④ 斜め棒銀

△64 銀▲98 香△75 歩▲78 飛△76 步▲同步△86 步▲同步△72 飛△74 步△同飛△65 歩△77 角成▲同飛△22 角△64 步△77 角成▲65 銀△75 飛△71 桂△同飛成△54 銀で四間飛車優勢。

⑤ 早仕掛け

△64 歩▲46 歩△65 歩▲47 金△73 桂△36 歩△86 步▲同步△66 步▲同銀△65 步▲同銀△77 角成▲同桂△22 角△55 步△同角△67 飛で互角。